

NotiMail お知らせメール

操作説明書

2018年3月



目次

1 概要.....	2
1.1 動作環境.....	2
1.2 動作時機器構成.....	2
2 ユーザー操作.....	3
2.1 基本画面.....	3
2.2 メニュー(フローティングメニュー).....	4
2.3 基本機能その1.....	5
2.3.1 イベント一覧.....	5
2.3.2 イベント登録.....	6
2.4 基本機能その2.....	7
2.4.1 ジョブメニュー.....	7
2.4.2 ジョブメニューの登録.....	8
2.5 拡張機能.....	9
2.5.1 ランチャージョブ登録.....	9
2.5.2 スケジュールジョブ登録.....	10
2.5.3 メール送信/音声再生ジョブ登録.....	11
2.5.4 テロップ用基本設定.....	13
2.5.5 基本設定.....	14
3 その他.....	15
3.1 ユーザー・サポートのご案内.....	15
3.2 バージョンアップおよび免責事項.....	15
3.3 ライセンスについて.....	15
A1. イベント登録について.....	16
A2. メール送信/音声再生ジョブ登録について.....	17
A3. コマンド(SENDUDPCMD.exe)の起動方法.....	18

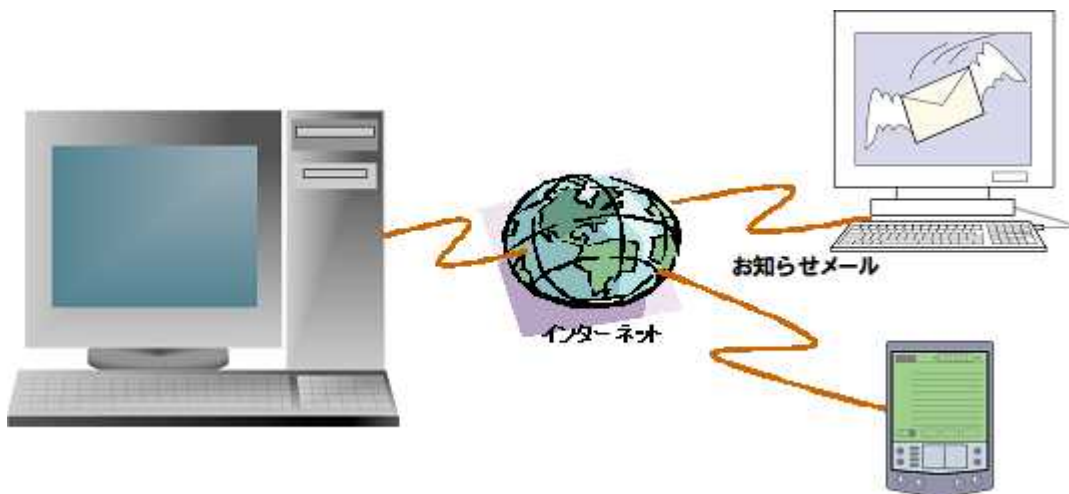
1 概要

本マニュアルはNotiMail/お知らせメールソフトの使い方について説明します。

1.1 動作環境

タイプ	項目	内容
ソフトウェア	OS	Windows 7 以降
ハードウェア	CPU	.NET フレームワーク 4.0 が動作する PC 環境
	メモリー	2GB 以上
	HDD	空き領域：10GB 以上

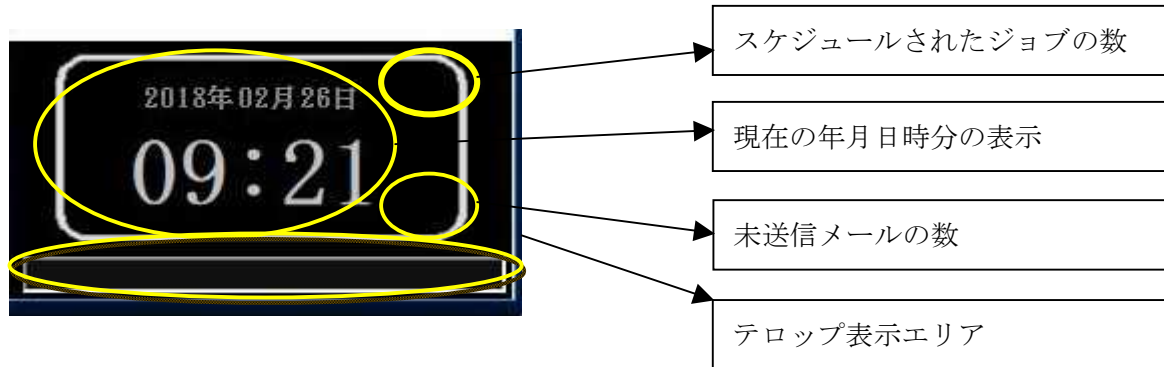
1.2 動作時機器構成



注) 本ソフトはインターネット接続を行うためインターネットインフラが必要です。

2 ユーザー操作

2.1 基本画面



上記画面は、PC画面の右下に表示されます。

※上記の基本画面は設定(基本設定)により非表示にすることができます。

非表示の場合でもPC画面の右下のタスクバーにアイコンが残っていますのでそのアイコンを右クリックすれば同じようにフローティングメニューを表示させることができます。基本設定で再度「表示」モードに戻すことができます。

※スケジュールジョブは、「スケジュールジョブ登録」画面によって登録します。

※テロップは、本ソフトで規定されたテロップ用テキストファイルのフォーマットであれば表示されます。

テロップテキストファイルを取得するURLおよびそのURLからダウンロードするテキストファイルのファイル名は、「テロップ用基本設定」画面にて登録します。

2.2 メニュー(フローティングメニュー)

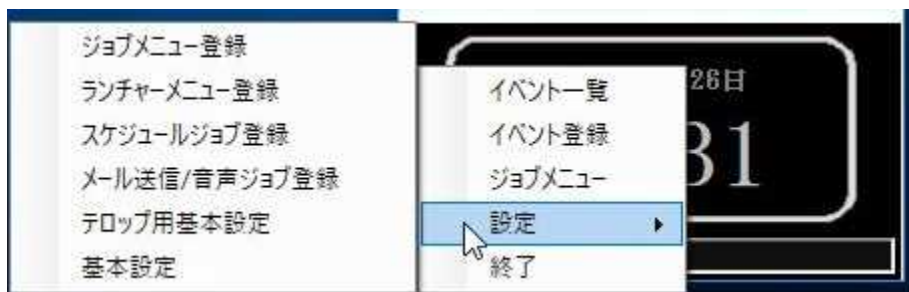
メニューは基本画面を右クリックすることで表示させることができます。



基本機能として、

1. 基本機能その1：未来日メール送信に必要な画面です。
 - ※イベント一覧
 - ※イベント登録
2. 基本機能その2
 - ※ジョブメニュー
 - ※ジョブメニュー登録

また、「設定」サブメニューは下記の通りです。

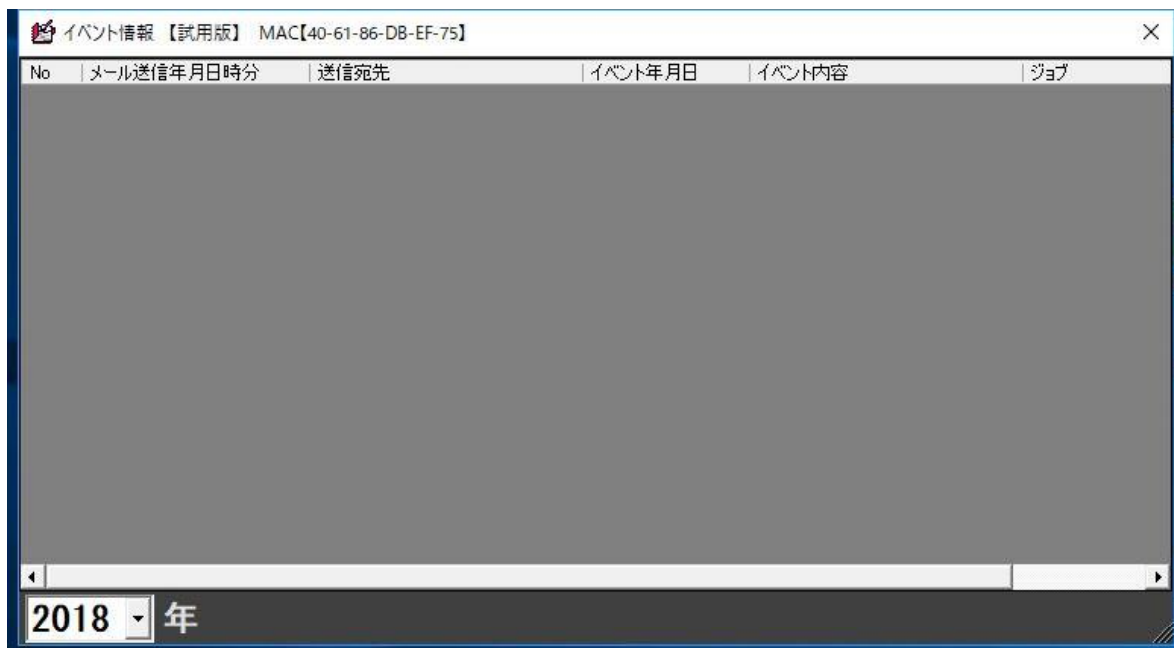


拡張機能として、

1. 各拡張機能用登録
 - ※ランチャーメニュー登録
 - ※スケジュールジョブ登録
 - ※メール送信/音声ジョブ登録
2. 基本設定関連
 - ※テロップ用基本設定
 - ※(全体の)基本設定

2.3 基本機能その1

2.3.1 イベント一覧



メニューの「イベント一覧」を選択すると、上記のようにイベント一覧表示画面が表示されます。
下記項目が表示されます。

- 1) No シーケンス番号
- 2) メール送信年月日時分
- 3) 送信宛先
- 4) イベント年月日
- 5) イベント内容

2.3.2 イベント登録



メニューの「イベント登録」を選択すると、上記のようにイベント登録画面が表示されます。
下記項目が登録できます。

- 1) メール送信年月日時分
- 2) イベント年月日
- 3) イベント内容

予め、送信タイムおよびイベントタイムの年月日として本日の年月日、内容として「本日のイベント」が表示されます。

送信先は、基本設定で登録した基本送信先が自動的に割り当てられます。

必須入力項目は下記の通り。

- 1) 送信タイム 年月日時分
- 2) イベントタイム 年月日時分 (但し、時分は省略可能)
イベントタイムはメールタイトルとして送信されます。
- 3) 内容 該当イベントについてのメモ **Max 30**文字とします。
内容はメールのボディとして送信されます。

2.4 基本機能その2

2.4.1 ジョブメニュー

メニューの「ジョブメニュー」を選択すると、下記のようにジョブメニュー画面が表示されます。



上記はジョブメニューが全く登録されていない画面例です。

ジョブメニューは、設定サブメニューの「ジョブメニュー登録」画面によって登録します。「SHUTDOWN」および「REBOOT」は固定メニューとして登録されます。

※「リモートモード」

リモートモードをチェックすると、ジョブメニューのリモートモードとなります。自 PC のメニュージョブではなく、リモート PC のジョブを実行するようにコマンド送信を行います。

リモート PC がリモートによって指定ジョブを実行するために、

- 1) 本ソフトが実行状態であること
- 2) メニュージョブを予め登録しておく必要があります。

注意)

リモートモードによって、実行するリモート PC のジョブメニューはあくまでもジョブ No のみの指定になります。従って、リモート PC において自 PC と異なるジョブを登録した場合、その異なったジョブが起動されます。

備考) リモートコマンドは、UDP ブロードキャスト(ポート 50001)によって行いますのでセキュリティによっては送受信許可を与える必要があるかも知れません。

2.4.2 ジョブメニューの登録

「設定」サブメニューの「メニュージョブの登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。

No	メニュータイトル	ジョブ
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		

下記項目を登録します。

1) メニューNo

10個まで登録することができます。(1～10)

2) タイトル

ジョブメニューに表示される各ジョブのタイトルです。

Max12文字まで登録できます。

3) ジョブ

実行/起動するプログラム名をパス付で登録します。

例えば、「C:\Windows\notepad.exe」のように登録します。

※「参照」ボタンのクリックで、「ファイルを開く」ダイアログ画面が表示され起動したいジョブを指定します。

※Windows エクスプローラ等からファイルをジョブのテキストボックスにドラッグ・アンド・ドロップしても登録することができます。

2.5 拡張機能

2.5.1 ランチャージョブ登録

「設定」サブメニューの「ランチャージョブの登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。

No.	摘要	ジョブ
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		

下記項目を登録します。

1) メニューNo

10個まで登録することが出来ます。(1～10)

2) タイトル

ランチャーメニューのメモとして登録されます。

Max12文字まで登録できます。

3) ジョブ

実行/起動するプログラム名をパス付で登録します。

例えば、「C:¥Windows¥NotePad.exe」のように登録します。

※「参照」ボタンのクリックで、「ファイルを開く」ダイアログ画面が表示され
起動したいジョブを指定します。

※Windows エクスプローラ等からファイルをジョブのテキストボックスに
ドラッグ・アンド・ドロップしても登録することが出来ます。

2.5.2 スケジュールジョブ登録

「設定」サブメニューの「スケジュールジョブの登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。

No	年月日時分	ジョブ
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		

下記項目を登録します。

1) ジョブ No

10個まで登録することが出来ます。(1～10)

2) 実行時分

指定ジョブはこの時分に実行されます。(年月日のフィールドは「*」を登録)

3) ジョブ

実行/起動するプログラム名をパス付で登録します。

例えば、「C:¥Windows¥NotePad.exe」のように登録します。

※「参照」ボタンのクリックで、「ファイルを開く」ダイアログ画面が表示され
起動したいジョブを指定します。

※Windows エクスプローラ等からファイルをジョブのテキストボックスに
ドラッグ・アンド・ドロップしても登録することが出来ます。

2.5.3 メール送信／音声再生ジョブ登録

「設定」サブメニューの「メール送信／音声再生ジョブ登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。



下記項目を登録します。

1) ジョブ No

10個まで登録することが出来ます。(1～10)

2) メールタイトル

イベントが発生した時に送信するメールのタイトルを登録します。

メールの本文はブランクとします。

3) 音声

再生する音声ファイル(WAV ファイル)を指定します。

イベントが発生した時に、メール送信すると同時に、音声を再生します。

音声指定は必須アイテムではありません。

※イベント発生について

イベントを発生させるコマンドを起動することでイベントが発生します。

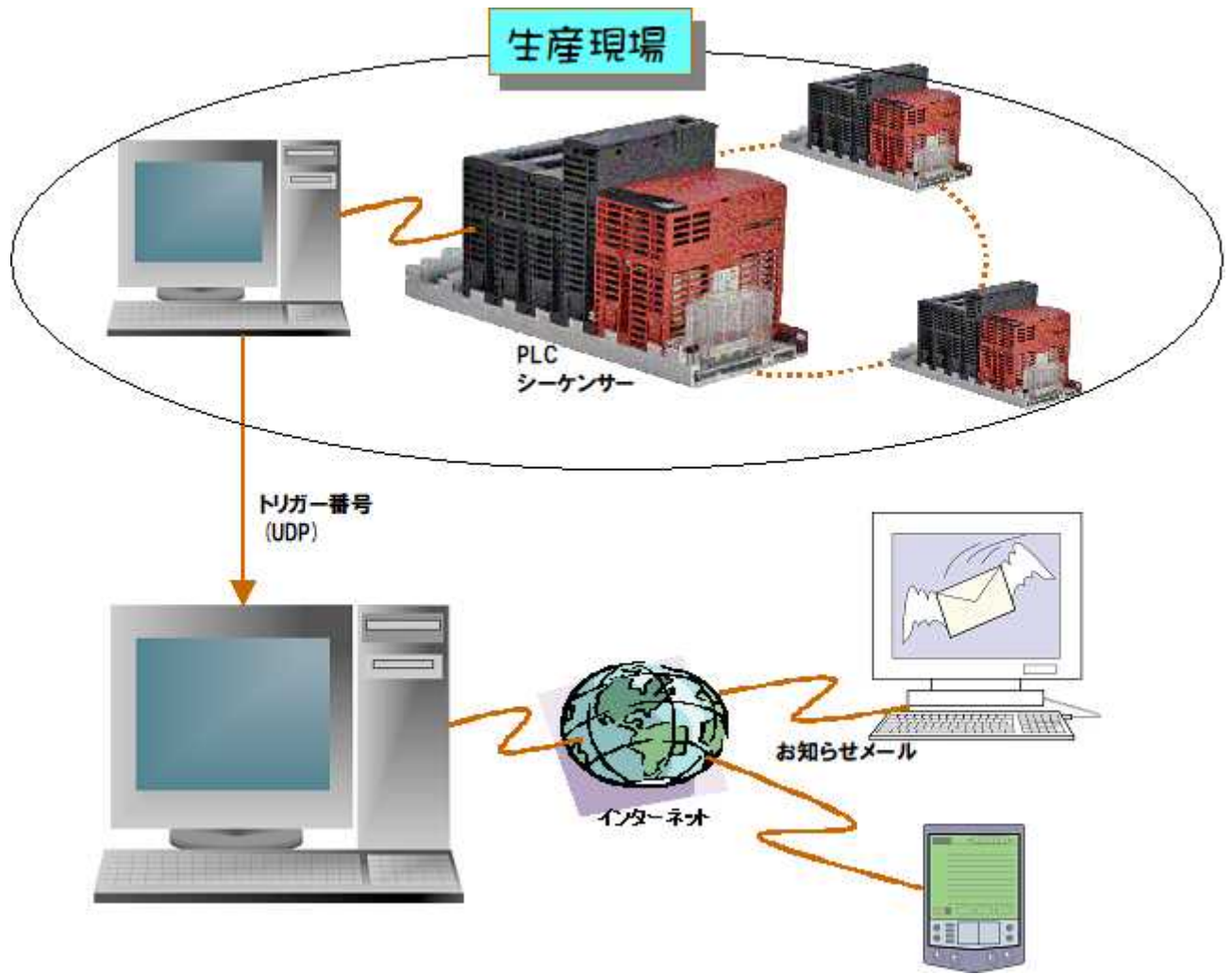
コマンドは、同一 PC またはリモート PC にて実行しても同じようにイベントを発生させることが出来ます。

コマンド(SENDUDPCMD.exe)は本ソフトと一緒にバンドルされます。

コマンド(SENDUDPCMD.exe)の起動方法は付録 A3 に記述します。

備考) リモートコマンドは、UDP ブロードキャスト(ポート 50001)によって行いますのでセキュリティによっては送受信許可を与える必要があるかも知れません。

本機能使用時の構成例です。



2.5.4 テロップ用基本設定

「設定」サブメニューの「テロップ用基本設定」を選択すると下記のように画面が表示されます。



基本設定 (テロップ) 【試用版】 MAC【40-61-86-DB-EF-75】

URL

ファイル名

戻る 保存

下記項目を登録します。

1) URL

テロップ用テキストファイルをダウンロードする URL を指定します。

例えば、「<http://xxxxxxx.com>」のように指定します。

2) ファイル名

上記 URL からダウンロードするテロップ用テキストファイル名を指定します。

例えば、「TELOP.TXT」。

2.5.5 基本設定

「設定」サブメニューの「基本設定」を選択すると下記のように画面が表示されます。

基本情報設定 【試用版】 MAC【40-61-86-DB-EF-75】

基本設定

1. 画面の表示

2. OS起動で起動

3. 送信先メールアドレス(デフォルト)

4. 送信元情報

SMTPポート

SMTPホスト

ユーザ名

パスワード

メールアドレス

SampleTaroの例

SMTPポート=587(SSLなし)

SMTPホスト=smtp.mail.yahoo.co.jp

ユーザ名=sampletaro

パスワード=myspassword

メールアドレス=TaroSample<taros@yahoo.co.jp>

SMTPポート=587(SSLなし)

SMTPホスト=eco-cloud.biz

ユーザ名=info@eco-cloud.biz

下記項目を登録します。

1) 画面の表示(する/しない)

「する」で基本画面を表示、「しない」で非表示にします。

非表示モードにおいても、画面右下のアイコンを右クリックして基本設定画面を表示することができます。

2) OS 起動で起動(する/しない)

「する」で PC の起動時に、本ソフトも起動されます。

3) 送信先メールアドレス(デフォルト)

本設定によりデフォルト送信先を指定しておくことができます。

4) 送信元情報

メール送信に必要な基本情報を設定します。

「SMTP ポート」は基本的に「自動設定」にしてください。

3 その他

3.1 ユーザー・サポートのご案内

本製品使用期間中に問題が発生した場合は、下記あてE-mail でご質問下さい。直接電話やご来社によるサポートは行っておりません。

また、出張によるサポートも行っておりませんのであしからずご了承下さい。

お問い合わせアドレス

E-mail : support@javasys.co.jp

ご要望および不具合報告は受け付けておりますが

本パッケージソフトのバージョンアップタイミングは不定期です、予めご了承ください。

3.2 バージョンアップおよび免責事項

※バージョンアップについて

1. 弊社はお客様に予告なしに改良の為に本ソフトウェアの変更を行うことがあります。
2. 弊社は本ソフトウェアを改良した新しいバージョンのソフトウェア（以下「新バージョン」という）をお客様に対して有償または無償で提供することができます。

※免責事項

弊社は、本ソフトウェアの使用、または使用できないことにより生じた損害に関していかなる責任も負わないものとします。

3.3 ライセンスについて

本ソフトは、1 PC に対して1ライセンスが必要です。

上記の初期設定後、「C:¥NotiMail¥」

フォルダー直下に「LIC.INI」というファイルが作成されます。

「KEY」に対応したライセンスをこちらで生成します。 客先名および「KEY」の内容を伝えて頂くか、「KEY」情報の LIC.INI ファイルを送って頂ければライセンス情報の入っている LIC.INI ファイルをお送りさせていただきますのでそれを再度「C:¥NotiMail¥」に格納して頂ければ手続き完了となります。

(メイン画面のタイトルバー上から「試用版」の文言が消えます)

A1. イベント登録について

イベント登録画面において、画面の左下あたりの「+」ボタンをクリックすると下記のように拡張画面になります。

イベント登録【試用版】 MAC[40-61-86-DB-EF-75]

送信タイム 2018年02月26日 時 分

イベントタイム 2018年02月26日 時 分

内容 本日のイベント

戻る 登録

送信先

送信テスト

ジョブ 参照

※送信先

デフォルト送信先に加え、2つ程の送信先を追加指定することが出来ます。

※送信テスト

指定した送信先に、テストメールの送信を行います。

入力したメールアドレスに誤りがないかのチェックをすることが可能です。

※ジョブ

イベントは発生した時に、メール送信と同時にここで指定したジョブも実行されます。

A2. メール送信／音声再生ジョブ登録について

メール送信／音声再生ジョブ登録画面において、画面の左下あたりの「+」ボタンをクリックすると下記のように拡張画面になります。

No	メール送信先	メールタイトル	音声ファイル
01			
02			
03			
04			
05			
06			

※送信先

デフォルト送信先に加え、2つ程の送信先を追加指定することが出来ます。

※送信テスト

指定した送信先に、テストメールの送信を行います。

入力したメールアドレスに誤りがないかのチェックをすることが可能です。

A3. コマンド (SENDUDPCMD.exe) の起動方法

コマンド (SENDUDPCMD.exe) の起動方法については、SENDUDPCMDReadme.TXT に記述してあります。
SENDUDPCMDReadme.TXT の内容は下記の通りです。

-----ここから-----

SENDUDPCMD.exe

=====

起動方法

SENDUDPCMD.exe <コマンド> <送信先 IP>

例)

SENDUDPCMD.exe

SENDUDPCMD.exe 1 localhost にコマンド 01 を送信

SENDUDPCMD.exe 2 all ブロードキャストでコマンド 02 を送信

SENDUDPCMD.exe 3 localhost

SENDUDPCMD.exe 4 192.168.1.20

備考)

※本処理は同じシーケンス No で 5 回送信

※本コマンド送信前に同じように 5 回程ダミーコマンド(コマンド 00)を送信

-----ここまで-----